

(様式4)

「第二次健康かしま21」(案)に対する御意見の概要とそれに対する鹿嶋市の考え方

	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	全体として、3つの計画を分かりやすく整理し、体系的に取りまとめられている印象がする。図表など資料も豊富で、理解促進に役立っている。	有難うございます。引き続き、市民の皆様にわかりやすい計画づくりを心がけてまいります。
2	第1章のタイトルが、「第二次計画の中間評価と見直し」となっているが、中間評価については、第1節にわずか5行に抽象的な記述があるだけで、他は見直しに関する記述になっている。そして、第2章「鹿嶋市の現状と課題」の第3節に「第二次健康かしま21計画の中間評価」が置かれている。	ご意見を参考に、検討させていただきます。
3	P.9(1) 出生数・率とも減少傾向にある中、合計特殊出生率が、平成25～29年において本市は1.79で県内第1位となり、国・県を大きく上回っている理由の記述がない。	本市が国・県よりも大きく上回っている理由については、地域における様々な要因が考えられますので今後分析してまいります。
4	P.12 図表11では、医療費総額が平成27年度をピークとして以降、年を経るにつれて低下している。一方、図表12を見ると、一人当たりの医療費は増加傾向にある。この間、人口が減少しているのでもないのにどうしてこういう現象が生じるのか、説明がほしい。	医療費総額が減少している理由としては、国保加入者が年々減少している影響が考えられます。 一方、一人当たりの医療費が増加傾向にあるのは、被保険者一人ひとりの病態が重症化し、それに伴い、高度医療や長期入院、人工透析等が必要になることで、一人当たりの医療費の負担が高くなる可能性が考えられます。
5	P.14 図表14: 図表下に「第1号被保険者」「第2号被保険者」とあるが、その別の説明がほしい。	脚注にて補足説明します。
6	P.17～P.21: 5ページに及ぶ詳細な「第二次健康かしま21の中間評価一覧」には驚かされた。詳細ゆえに外観しかしなかったが、この分析は有用であり高く評価できる。	有難うございます。この内容につきまして、P97の「第5章 健康づくりの指標と目標値」として各分野別目標を設定し、評価することで本市の保健事業の取り組みに反映させております。引き続き、市民の皆様に分かりやすい計画づくりを心がけ、健康づくりの推進を図ってまいります。

7	P. 22 第2節基本目標：「国民の健康の増進の総合的な推進～」とある。国の方針ゆえ、そのまま掲記せざるを得ないのだろうが、「の」の三連発は醜く読みにくい。	国の方針であるため、このままとします。
8	P. 25 「ア」：科学的根拠に基づいているのであれば、がん発症予防として有意であり、広く市民に周知したい。	根拠として、国立がんセンター「科学的根拠に基づくがんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究」を参照しています。
9	P. 26 「イ」：末尾の「精度管理の徹底」とは何か。	精度管理は、がん検診における技術を一定に保つると同時に、検診の効率、効果等を明らかにするために重要なものです。茨城県がん検診指針において、検診実施に関する内容だけでなく、精度管理についても市町村・茨城県・検診実施機関それぞれの役割が定められています。
10	P. 27 図表 17 「標準化死亡における各がんの推移」：「標準化死亡」とあるが、「比」が抜けているのではないか。	ご指摘の通り、修正します。
11	P. 27～P. 28 「イ がん検診受診率の状況」：経験に基づく個人的な見解であるが、数年前に前立腺癌について精密検査を受けるよう指示され、検査入院したことがある。前立腺癌は血液検査である程度の判断ができるので、容易に検診を受けやすいが、たとえば胃がんだとバリウムが待っており、大腸がんだと事前に保健センターにまで容器を取りに行かなければならないという物理的な障壁がある。市独自では解決し得ないかもしれないが、何か代替策はないものか。	現在のところ国の指針に基づく方法で実施しておりますが、今後、受診しやすい方法等があれば受診率向上のためにも検討してまいります。
12	P. 32 「イ 高血圧の状況」：「平成 27 年度までは減少傾向でしたが、平成 28 年度に急激に増加し、その後、微増が続いております」とあるが、その理由や原因は分析されているのか。	理由や原因については、引き続き分析してまいります。

13	P. 32「イ 高血圧の状況」:「コントロール不良者」とは何か。医療行政上定着した用語か?可能ならば「不良者」との表現は避けたい。以降、P. 41 図表 31 や P. 42 などにも見られる。	「コントロール不良者」とは、「治療はしているが、値が適切な範囲に維持できていないこと」を意味しております。 国の方針である健康日本21にも「コントロール不良者」と表記されているため、本計画でも「コントロール不良者」と表記しています。
14	P. 35「エ 特定健診・特定保健指導の実施率の状況」:最下行に「対象者が行動変容できるような取組が必要」とある。その通りだと思うが、具体例を入れたらどうか。	ご指摘を参考に、修正します。
15	P. 38~P. 39「◇対策」:経験からだが、検査を受け、治療をすることは重要だが、もう1つ家庭でできる対策が体操だ。専門家の指導を受けて、体操を継続することによってかなりの効果が期待できる。そこで循環器疾患対策として、それ用の体操指導を対策に付け加えたらどうか。	循環器疾患予防対策として、循環器疾患の病態や治療法の知識の普及啓発の他に、循環器疾患を予防するための、食事や運動方法に関する内容についても、広報・ホームページ等で、普及啓発を実施しております。
16	P. 41 図表 30:色別に表記されている欄の数値が2段書きになっているが、下段の括弧書きは何を意味するのか。また、右側の赤色欄内の数値は見えない。	ご指摘を参考に、修正します。 上段の数値は「NGSP 値」、下段の括弧内は「JDS 値」表記しております。HbA1cには「JDS 値」(日本で決められた測定値)と「NGSP 値」(主に米国で決められた測定値)の2つがあります。 特定健診についてのHbA1cの表記に関して、H25年4月1日以前は、「JDS 値」で表記されておりましたが、H25年4月1日以降は、HbA1cの国際標準化の基本方針に伴い、「NGSP 値」で表記しています。
17	P. 42「イ 糖尿病性腎症による新規人工透析導入者の状況」:「平成29年度に増加し、国の2倍になっている」とあるが、その理由や原因は分析されているのか。	理由や原因については、引き続き分析してまいります。

18	P. 44～第4章第2節全般：この節は計画の一部として掲記されているが、多くの人たちにとっては、健康に関する日常生活における留意事項として大いに参考となる。この箇所を抜粋して小冊子化し、市民に配布したらいかがか。	ご指摘有難うございます。第4章第1節から第4章第2節においては、分野別目標の取り組みについての具体的な内容になりますので、市民一人ひとりが健康づくりを実践できるよう、市広報やホームページ等を活用し、多くの市民の皆さまに関心を持っていただけるよう、普及・啓発を強化してまいります。
19	P. 45「ア 朝食の摂取状況」：「自らが食事を選択し、食事を自己管理する力を身につけ」とあるが、この箇所を切り取って読むと学童に偏食を奨励するようにも読める。	ご指摘を参考に、修正します。
20	P. 48「ア」5行目：「皿が揃える」は「皿を揃える」ではないか。	ご指摘の通り、修正します。
21	P. 49 2行目：フレイル予防とロコモ予防とはなにか。説明がほしい。	ご指摘を参考に、修正を検討します。
22	P. 49「イ」7～8行目：間食の摂取について「4歳児、小学2年生、小学5年生から高校2年生相当」まで触れているが、図表40では「小学5年生から高校2年生相当」までが表記されていない。	ご指摘を参考に、図表を修正します。
23	P. 52「○食塩摂取量を減らすよう心がける人を増やす」：7項目の対策が列記されている。いずれも重要なことなのだろうが、県独自に毎月20日を「減塩の日」と定めたにしては、インパクトに欠ける。P. 51で、目標量や摂取量をグラムでの数値で示しているが、それだけでは分かりにくい。具体例を図示するなどの工夫がほしい。	ご指摘を参考に、修正を検討します。
24	P. 53「イ 地産地消の状況」：認識度を高めることも取り組みも重要だ。あらゆる機会を捉えて実践してほしい。1行目に「観光イベント等で広く周知し」とあるが、「観光」となると市民対象ではなく、他縣市からの来訪者をイメージするが、どうか。	ご指摘の通り、「観光」となると他縣市からの来訪者をイメージしますが、市主催のイベント等に市民の方も多く来訪しており、市民の認識度を高める効果があると考えます。今後も地場産物を活用したイベント等を実施し、市民への情報発信の普及・啓発につなげてまいります。

25	P. 57「ア 運動習慣の状況」:「前回のアンケート結果と比べると、週 1 日以上の上定期的な運動習慣がある人の割合が男性で大きく増加した一方、女性では大きく減少しました。これは、65 歳以上の方でも同様の結果となっています」とあるが、「前回」とはいつ時点なのか明示した上で、具体の数値をグラフで示したほうがわかりやすいのではないか。	ご指摘を参考に、修正を検討します。 文章中の「前回」とは、平成 26 年度に実施しましたアンケート調査になります。グラフについては検討いたします。
26	P. 59 図表 43: グラフでは各世代とも横に5つのパーセンテージが示されているが、図下の凡例では、「十分足りている」など3つしか例示されていない。右側2つの数値は何を示しているのか。また、70 歳以上の右側2つの数値がダブっていて識別できない。	ご指摘の通り、修正します。
27	P. 62 図表 45「妊娠中の飲酒状況」: 乳児全戸訪問の情報からとのことだが、そうした状況下で正確な情報が得られるのだろうか。妊娠中の女性が、問われたからといって「はい、私飲酒しています」と言うか疑問に思う。同じことが P. 63 の喫煙についても言える。	ご指摘の内容も想定されますが、妊娠中の飲酒と喫煙状況について把握できるデータとしては乳児家庭全戸訪問での情報になります。
28	P. 65 (5) ◇基本的な考え方: 構音機能とは何か。咀嚼機能と併せて要説明ではないか。	脚注にて補足説明します。
29	P. 67「ウ 歯周病」:「4mm~5mm の初期 から中期が19.4%、進行している状態とされる6mm以上は4.3%となっています」とあるが、何が何ミリなのかは図表 51 円グラフの凡例を見ないと分からない。本文中に「ポケット」と記したらどうか。	ご指摘の通り、修正します。
30	P. 70◇子育て世代包括支援センターの開設: 6 行目の「子育て」が重複しているので、後者のそれを削除し、7 行目の「提供される」の前に「何が」を挿入したらどうか。	ご指摘を参考に、修正を検討します。
31	P. 72「イ 出産期の状況」3 行目:「8 割近くの受診している状況です」。「の」は「が」では?	ご指摘の通り、修正します。

3 2	P. 79◇対策：「学童期・思春期に対し、関係機関と連携しながら性教育や健康教育を行っていく」と1行で済ませているが、親の役割などを含め、もっと詳細に記述すべき事項ではないのか。	ご意見を参考に、検討させていただきます。
3 3	P. 85⑤◇現状と課題の15行目「孤育て」：「子育て」の誤りでないとすれば造語ということか。であるならば「孤育て」とカッコで括るべきではないか。	ご指摘の通り、修正します。
3 4	P. 86 図表 78：質問項目で「父親」「母親」の他、「保護者」と「人」があるが、どういう使い分けをしているのか。保護者とは何を具体的にイメージしているのか。「人」は広い概念だが、ここではどういう立場の人を指しているのか。	「人」とはご回答いただいた養育者の方を指します。 4歳児の養育者と20歳以上で就学前の子どもを持つ養育者に回答いただいた内容になります。各家庭により養育者が異なるため、このような使い分けをいたしました。
3 5	P. 86～87◇対策：虐待防止策としていずれも重要なのだろうが、どこか隔靴搔痒感が残る。特に児童相談所と警察が記されていないことに疑問が残る。最近とみに児童虐待による事件が集中して発生している。その多くは関係機関の相互連絡、すなわち情報の共有が欠落していることが指摘されているのではないのか。そういう視点からの記述が弱いように感じる。	ご指摘を参考に、修正を検討します。 虐待防止策の支援体制づくりにおいて、主な関係機関としては市こども相談課、児童相談所、警察等になります。引き続き、妊娠期からの虐待予防のため切れ目ない支援体制として、各関係機関との情報共有や連携体制の強化を図ってまいります。
3 6	P. 89②「ア ストレスや悩みの有無と相談状況」：「自殺対策計画」に言及しているが、鹿嶋市における自殺者数の記載がない。事例の有無が対策に大きく影響するのではないか。記載すべきだろう。	鹿嶋市における自殺者数については、鹿嶋市自殺対策計画に掲載しております。自殺対策につきましては、鹿嶋市自殺対策計画に基づき、推進してまいります。
3 7	P. 93「ウ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について」：「令和2年度から高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を行って」いるとのこと。さらに一歩進めて後期高齢者医療制度を廃止し、国民健康保険との一体化に戻すよう、県内市町村とともに県を通じて国に働きかけることを期待したい。	ご意見として、伺います。

38	<p>P.97 第5章、枠で囲った下、3行目～4行目： 「既存の統計調査で毎年モニタリングすることが、可能な指標とすることが望ましいとされました」とあるが、文章としておかしい。「が」が重複しており、二重主語になっている。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、修正します。</p>
39	<p>P.97 第5章、枠で囲った下、7行目～12行目：一文が6行にも渡っていることに加え、くどくどく言い訳をしているように読める。たとえば、「今回の中間評価の結果、計画の成果指標のうち」の次を「下記3項目については、それぞれに掲げる理由によって、後期計画の指標からは除外することとしました」とし、以下3項目を箇条書きして理由を付したらどうか。また、後期計画の成果指標から除外することと、その下の「※目標設定一覧から削除する3項目について」との関係が理解できない。</p>	<p>ご指摘を参考に、修正を検討します。</p>
40	<p>P.98～P.102「第5章健康づくりの指標と目標」：技術的に難しいかもしれないが、P.17～の「中間報告」とP.98～を対比する形で見るができることよいのだが…。</p>	<p>ご意見として、伺います。</p>